

GWDAW13 への対応について

(2009/1/8 KA)

●GWDAW13

○ 新井・1/18 出発 - 1/24 帰国 (他参加者、神田さん)

○ オーラルでは地上は Gabriela Gonzalez がまとめて話す。何枚かトラペを提供することになる予定。先方からの指示がまだ来ていないが、LCGT/CLIO/TAMA の現状を話してもらうよう手配の予定。

●新井の発表: ポスター

○ 著者: K.Arai and the LCGT collaboration (including CLIO collaboration and the TAMA collaboration)

○ 内容は LCGT に向けての TAMA/CLIO の活動。TAMA の感度向上と CLIO の感度向上について、CLIO については三代木さんの共同利用報告を参考にして図を集めて作製する予定。以下が最新版

http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/infomation/workshop/2007/kyodoriyo/Program_H20.html

●Proceeding paper: 通例 CQG に掲載の

○ 著者:

TAMA - SAS 関連の人を加えた TAMA 現場 + TAMA collaboration.

CLIO - 内山隆, 宮川治, 三代木伸二, 齊藤陽紀, 我妻一博, 大橋正健, 黒田和明, 中谷一郎 (ICRR) 寺田聡一 (AIST) 山元一広 (MPQ) 都丸隆行, 鈴木敏一, 春山富義, 佐藤伸明, 山本明 (KEK) 新富孝和 (日本大学) and the CLIO Collaboration

○ 内容: TAMA の現状と CLIO の現状について、深入りせずに報告。熱雑音と感度の比較などの図は出す。

※踏み込んだ熱雑音の推定などについては別途 CLIO の宇宙線研メンバーできちんとした論文を出したほうがよいと思うので、GWDAW ではその障害にならない程度のものを意図。